

2022. 10. 20

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

11月テーマ「燃えやすい歴史都市を火災から守る」

開催日時：2022年11月5日(土)・19日(土) 10:00～11:30

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

11月の立命館土曜講座は、歴史都市防災研究所の企画として、「燃えやすい歴史都市を火災から守る」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 11月テーマ「燃えやすい歴史都市を火災から守る」

(1)第3369回「伝統的な街並みが備える防火資源の再評価」

日時：2022年11月5日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学理工学部 教授 大窪 健之

(2)第3370回「京都の街並みを守る初期消火対策」

日時：2022年11月19日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学理工学部 准教授 金 度源

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：400人 ※実施2日前17:00までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

https://www.ritsumeit.ac.jp/community_affiliations/kikou/doyokozakikoh/

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当：武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 11月テーマ「燃えやすい歴史都市を火災から守る」

(1)第3369回「伝統的な街並みが備える防火資源の再評価」

日時：2022年11月5日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学理工学部 教授 大窪 健之

講師による内容紹介：

歴史地区はこれまで長い歴史の中で、数々の災害を乗り越えて現在に至っています。その意味で、近代的な防災技術が無い時代から災害を乗り越えるための工夫がなされ、蓄積されてきたものと考えられます。これらのいわば「減災の知恵」を科学的に評価し、将来へ向けて学ぶことができれば、防災性能を向上させると同時に、文化的な価値の再生にも寄与できる知見が得られる可能性があります。

本講座では、日本の伝統的な町家群に見られる土蔵が連担する街並みと、屋敷林や中庭の緑が特徴的な街並みを対象として、それらの延焼抑止性能について最新のシミュレーション技術で検証していきます。

(2)第3370回「京都の街並みを守る初期消火対策」

日時：2022年11月19日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学理工学部 准教授 金 度源

講師による内容紹介：

京都のような美しい日本の歴史文化都市の防火対策として、大きく二つの特徴が考えられます。その1、木造密集市街地であるため火災が発生すると隣の建物への延焼の可能性が高く、火災が発生してから如何に早い初期消火対応をするかによって被害の大きさが変わること。その2、京都の街並みにはよく見かけられる「赤い防火バケツ」がありますが、京都における防災対策は景観面を考慮した意匠面の工夫も求められることです。

本講座では、美しい京都を火災から守る美しい初期消火の取り組みについて、実践的な事例や最新の研究の取り組みである「天水バケツプロジェクト」などを紹介させていただきます。天水バケツプロジェクトは、日常生活における初期消火用水の確保を目指して、京都の市街地ではよく見かけることができる防火バケツに、雨水から常に綺麗な水を確保するプロジェクトとして立ち上げられました。日常から防災するアイデアやその意義について皆さまと一緒に考えるきっかけになればと思います。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> https://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/kikou/doyokozakikoh/